

本事例についてのお問い合わせは

社会福祉法人 青葉仁会 中永

までお願いいたします

団体名 (個人名)	社会福祉法人 青葉仁会
団体(個人) 所在地	〒630-2152 奈良県 奈良市 杣ノ川町50-1
TEL番号	0742-81-0824
FAX番号	0742-81-0804
メールアドレス	info@aohani.com
記載者の職・氏名	生活支援部 中永 鈴菜

## ○実践のあらまし

当会では、森の学校という、障害者の程度を問わず、自然体験プログラムを提供する企画を行っている。昨今、重度自閉症の方の参加希望が多くなり、森の学校に参加して頂いても、プログラムを通して、成長して頂くという本来の目的には達し得なかった。

そこで、より細かな視点で参加者を観察し、TEACCHを中心とした支援のスキルを見出し、彼らの生活をより豊かなものにできる企画(「INK」)を行いました。

「INK」の由来は、それぞれの個性を尊重しつつ、スタッフ・保護者が「はん」となって協働して、彼らの社会参加を広げていくという意味です。

## ○実践の内容

「INK」専用に準備したスペースで、クラフトやクッキングを中心とした日帰り企画です。あらかじめ参加者には、アセスメントシートとサポートブックを作成して頂き、その資料をもとに個々の能力に応じた個別プログラムを作成します。プログラムには、ボランティアがマンツーマンで把握し、スタッフは全体を見るサポートに徹します。自閉症の方には、「待つ」ことの概念の理解が困難なため、プログラムの間の休憩時間には、個々に休憩室を用意し、手持ちぶさたな時間を作らないように配慮している。支援の特徴として、作り方や次のプログラムを写真や文字で提供(TEACCH)したり、ボランティアのやり方を見ながらして頂いたり(模倣)、最後まで一人で出来るように、ボランティアが見守る(自発的行動)ことを大切にしています。

## ○まとめ

自閉症のイベントを行うには、まず事前に参加者の情報収集(アセスメント)を行っておくことがとても大切であることがわかりました。また、一人の参加者につき一人の支援者がつくことで参加者が少し不安な表情を見せたり、落ち着きのない状態になったり(不穏時)した時もすぐに対応できることができるため、参加者の情緒の安定にもつながることがわかりました。